

2014年度 第2回 研究会

東日本大震災後の 復興過程に関わる 地域社会比較と 民族誌情報の応用

<http://www.cneas.tohoku.ac.jp/news/2013/research31.html>

日時 2014年7月5日(土) 14:00~17:30

場所 東北大学 川内キャンパス

東北アジア研究センター・大会議室

(4F 436室)

プログラム1 14:00~15:50

ブレインストーミング

「みやしんぶんデータベースの活用と展開」

話題提供; 高倉浩樹、山口未花子、滝澤克彦、及川高(予定)

※東北大学東北アジア研究センターでは、2011年11月から2013年3月にかけて宮城県からの受託事業として、「東日本大震災に伴う被災した民俗文化財調査」を行った。「みやしんぶん」はその成果をWeb上で誰でも参照できるように公開しているデータベースである。今回の研究会では、こうしたかたちで集積され、提供される民族誌が今後いかに活用(教育、復興事業、ボランティア支援など)可能であるかを、幾つかの話題提供を皮切りとして自由にディスカッションする。

プログラム2 16:00~17:30

ブリギッテ・シテーガ (Brigitte Steger; ケンブリッジ大学)

'The ethnographer in the hinanjo

— Yamada-machi, Iwate 2011'

(避難所の民族誌家: 2011年岩手県山田町)

※シテーガ氏は『東日本大震災の人類学』(2013: 人文書院)の共同編著者。同書には論考「皆一緒だから—岩手県山田町の津波避難所における連帯感」(池田陽子訳)を寄せている。現在も岩手県にて調査を継続中。

※当日の報告及び質疑応答は英語中心で一部日本語の予定。通訳なし。

主催:

東北大学東北アジア研究センター共同研究

「東日本大震災後の復興過程に関わる

地域社会比較と民族誌情報の応用」

※参加費・事前申し込み等不要。お問い合わせは下記まで。

【事務局】

東北大学 東北アジア研究センター 及川高(教育研究支援者)

tel:022-795-3621 e-mail: t_oikawa@cneas.tohoku.ac.jp